

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

This Page Blank (uspto)

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-019943

(43)Date of publication of application : 28.01.1994

(51)Int.Cl.

G06F 15/28

G07C 13/00

(21)Application number : 04-170899

(71)Applicant : NIPPON TELEGR & TELEPH CORP <NTT>

(22)Date of filing : 29.06.1992

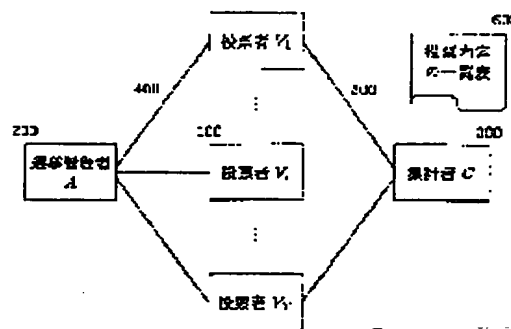
(72)Inventor : FUJIOKA ATSUSHI
OKAMOTO TATSUAKI

(54) ELECTRONIC VOTING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a safe and fair electronic voting method capable of holding privacy by ciphering the contents of a vote to form a voting sentence and transmitting a disturbed voting sheet with a signature to an election supervisor.

CONSTITUTION: Respective voter devices 100 for T voters Vi are connected to an election supervisor device 200 through a register communication line 400 and connected also to a totalizer device 300 through an anonymous communication line 500. The device 300 opens a table 600 for the contents of votes. The device 100 is constituted so as to access the table 600. Since a voting sentence disturbed the contents of a vote by a random number, an election supervisor A and a totalizer C can not find out the contents of the vote from the disturbed voting sentence and unsigned voting is also guaranteed. Since a formal objection claiming a valid voter Vi is shown only by transmitting the ciphered voting sentence and the signature of the supervisor A to the totalizer C, it can be executed without clarifying the contents of the vote.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 07.01.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3209238

[Date of registration] 13.07.2001

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

This Page Blank (uspto)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 6 - 1 9 9 4 3

(43) 公開日 平成 6 年 (1994) 1 月 2 8 日

(51) Int. Cl. ⁵

G06F 15/28

G07C 13/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 7052-5L

B 9146-3E

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平 4 - 1 7 0 8 9 9
(22) 出願日 平成 4 年 (1992) 6 月 2 9 日

(71) 出願人 0 0 0 0 0 4 2 2 6
日本電信電話株式会社
東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 6 号
(72) 発明者 藤岡 淳
東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 6 号 日
本電信電話株式会社内
(72) 発明者 岡本 龍明
東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 6 号 日
本電信電話株式会社内
(74) 代理人 弁理士 草野 卓

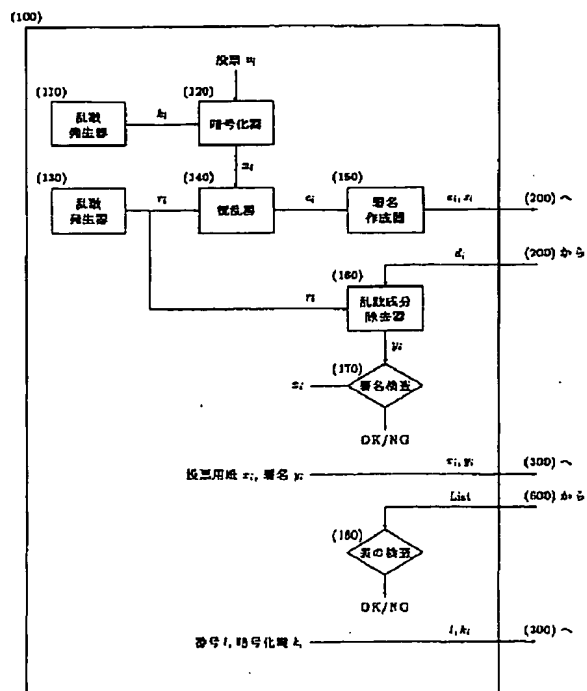
(54) 【発明の名称】 電子投票方法および装置

(57) 【要約】

【目的】 匿名性を保持し、安全、公平な電子投票方法および装置を提供する。

【構成】 投票者 V_i が投票内容 v_i を乱数成分 k_i により暗号化し、乱数成分 r_i により攪乱して投票文 e_i を作成し、 e_i に署名 s_i を付してこれを選挙管理者 A に送信し、選挙管理者 A は署名 s_i に基づいて投票者 V_i の正当性を認証した後に、投票文 e_i に選挙管理者 A が署名 d_i して署名 d_i 付き投票文を投票者 V_i に返送し、投票者 V_i は選挙管理者 A 署名付き投票文 x_i 、 y_i を求めてこれを集計者 C に送信し、集計者 C は受信した投票文が選挙管理者 A によって署名されていることを確認した後に投票文を暗号化されたまま一覽公開し、投票者 V_i は自己の投票文が登録されている場合は暗号化に使用した乱数成分 k_i を集計者 C に送信する一方、登録されていない場合は集計者 C に対して異議を申し立て、集計者 C は投票内容を集計する電子投票方法および装置。

図 3



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 投票者が投票内容を乱数成分により暗号化し、乱数成分により攪乱して投票文を作成し、これに署名を付して選挙管理者に送信し、選挙管理者は付加された署名に基づいて投票者の正当性を認証した後に、投票文に選挙管理者が署名して選挙管理者署名付き投票文を投票者に返送し、投票者は選挙管理者署名付き投票文を求めてこれを集計者に送信し、集計者は受信した投票文が選挙管理者によって署名されていることを確認した後に投票文を暗号化されたまま一覧公開し、投票者は公開された投票文の一覧表に自分の投票文が登録されていることを確認した場合は暗号化に使用した乱数成分を集計者に送信する一方、登録されていない場合は集計者に対して異議を申し立て、集計者は投票文から全ての投票内容を取り出してこれを集計する電子投票方法。

【請求項 2】 乱数発生器を使用して生成した乱数成分を入力して投票内容を暗号化する暗号化器、乱数発生器を使用して生成した乱数成分を入力して攪乱された投票文を作成する攪乱器、攪乱器が作成した投票文を入力してこれに署名を付して選挙管理者装置に送信する署名作成器、選挙管理者署名付き投票文を入力してこれから乱数成分の影響を取り除いて暗号化された投票文の署名情報を求める乱数成分除去器、署名情報を確認する署名検査器、暗号化された投票内容および署名情報を集計者装置に送信する装置、自己の投票文が表に存在することを確認したことに基づいて暗号化に使用した乱数成分を集計者装置に送信する装置より成る投票者装置を具備し、投票者確認のなされた攪乱された投票文を入力して選挙管理者署名付き投票文を作成してこれを投票者装置に返送する署名作成器より成る選挙管理者装置を具備し、署名付き投票文を入力して投票文が選挙管理者装置により署名されていることを確認する署名検査器、投票文を表にしてこれを周知せしめる表作成器、投票文を集計する集計器より成る集計者装置を具備する、ことを特徴とする電子投票装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【産業上の利用分野】この発明は、電子投票方法および装置に関し、特に、電気通信装置を介してアンケート調査その他の投票を実施する場合に、安全で、かつ、公平な無記名投票を実施することができる電子投票方法および装置に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】無記名投票は、投票者と投票内容の対応を秘密にすることができ、個人の思想信条に関するプライバシーを守るのに適しているので、電子会議およびCATVの如く双方向電気通信装置を採用している場合のアンケート調査その他の調査、投票に利用することができる。

【 0 0 0 3 】双方向電気通信装置において、安全で、か

つ、公平な無記名投票を実施するには、投票者の偽装、二重投票、投票文の盗聴に伴う投票内容の漏洩その他の不都合を防止する必要がある。これら不都合を解決する方法としてデジタル署名を採用した電子投票方法が提案されており、これには、例えば、太田和夫：“単一の選挙管理者を用いた電子投票方式”、昭和 6 3 年電子情報通信学会春季全国大会、A - 2 9 4 (昭 6 3 - 3) がある。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この方法には解決されるべき課題が内蔵している。先ず、選挙管理者が不正を行った場合、投票者がこれに異議申立を行うには投票者の投票内容を公開することが必要であり、これは投票者のプライバシーを侵害する。

【 0 0 0 5 】また、選挙管理者には匿名の形で投票が集まるが、その内容は全て選挙管理者には可読であるので、例えば、投票の途中経過を投票者に漏洩することにより選挙結果を左右することが可能である。この発明は、プライバシーを侵害されることなく異議申立をすることができると共に、集計の途中経過が投票に影響を及ぼす余地のない安全、かつ、公平な電子投票方法および装置を提供するものである。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】投票者 V_i が投票内容 v_i を乱数成分 k_i により暗号化し、乱数成分 r_i により攪乱して投票文 e_i を作成し、これに署名 s_i を付して選挙管理者 A に送信し、選挙管理者 A は付加された署名 s_i に基づいて投票者 V_i の正当性を認証した後に、投票文 e_i に選挙管理者 A が署名 d_i して選挙管理者 A 署名 d_i 付き投票文を投票者 V_i に返送し、投票者 V_i は選挙管理者 A 署名付き投票文 x_i 、 y_i を求めてこれを集計者 C に送信し、集計者 C は受信した投票文が選挙管理者 A によって署名されていることを確認した後に投票文を暗号化されたまま一覧公開し、投票者 V_i は公開された投票文の一覧表に自分の投票文が登録されていることを確認した場合は暗号化に使用した乱数成分 k_i を集計者 C に送信する一方、登録されていない場合は集計者 C に対して異議を申し立て、集計者 C は投票文から全ての投票内容を取り出してこれを集計する電子投票方法を構成した。そして、乱数発生器 1 1 0 を使用して生成した乱数成分 k_i を入力して投票内容 v_i を暗号化する暗号化器 1 2 0、乱数発生器 1 3 0 を使用して生成した乱数成分 r_i を入力して攪乱された投票文 e_i を作成する攪乱器 1 4 0、攪乱器 1 4 0 が作成した投票文 e_i を入力してこれに署名 s_i を付して選挙管理者装置 2 0 0 に送信する署名作成器 1 5 0、選挙管理者署名付き投票文を入力してこれから乱数成分の影響を取り除いて暗号化された投票文の署名情報 y_i を求める乱数成分除去器 1 6 0、署名情報 y_i を確認する署名検査器 1 7 0、暗号化された投票内容 x_i および署名情報 y_i を集計者装置

300に送信する装置、および自己の投票文が表に存在することを確認したことに基づいて暗号化に使用した乱数成分 k_i を集計者装置300に送信する装置より成る投票者装置100を具備し、投票者確認のなされた攪乱された投票文 e_i を入力して選挙管理者署名付き投票文を作成してこれを投票者装置100に返送する署名作成器230より成る選挙管理者装置200を具備し、署名付き投票文を入力して投票文が選挙管理者装置200により署名されていること確認する署名検査器310、投票文を表600にしてこれを周知せしめる表作成器320、および投票文を集計する集計器340より成る集計者装置300を具備する、電子投票装置をも構成した。

【0007】

【実施例】この発明の実施例を図2を参照して説明する。この発明は、先ず、投票者 V_i が投票内容 v_i を乱数成分 k_i により暗号化する。投票内容を暗号化した上に、更にこれを乱数 r_i により攪乱して投票文 e_i を作成する。投票内容を暗号化した上に更に乱数で攪乱した結果 e_i に署名 s_i を付してこれを選挙管理者Aに送信する。選挙管理者Aは付加された署名 s_i に基づいて投票者 V_i の正当性を認証した後に、投票文 e_i に選挙管理者Aが署名 d_i して選挙管理者A署名 d_i 付き投票文を投票者 V_i に返送する。投票者 V_i は選挙管理者A署名付き投票文から乱数の影響を取り除いて署名付き投票文 x_i, y_i を求め、これを集計者Cに送信する。集計者Cは受信した投票文が選挙管理者Aによって署名されていることを確認した後に、投票文を暗号化されたまま一覽公開する。投票者 V_i は公開された投票文の一覽表に自分の投票文が登録されていることを確認した場合、暗号化に使用した乱数成分 k_i を集計者Cに送信する。もし、登録されていない場合は、集計者Cに対して異議を申し立てる。集計者Cは投票文から全ての投票内容を取り出し、これを集計する。

【0008】上述の通りであって、投票文は投票内容を乱数により攪乱してあるので、選挙管理者Aおよび集計者Cは攪乱された投票文から投票内容を求めることができず、投票の無記名性も保障される。そして、異議申立に関しても、自分が正当な投票者 V_i であることは暗号化されている投票文および選挙管理者Aの署名を集計者Cに対して送信することのみにより示すことができるので、投票内容を明らかにすることなくして異議申立を実施することができる。また、集計者Cには暗号化された投票内容が集まるので、投票中にその途中経過は明らかにならず、公平な投票方式であると言えることができる。即ち、この発明は従来より指摘されていた異議申立時のプライバシーの侵害および途中経過の漏洩による投票への不正な影響を防止することができるものである。

【0009】この発明の具体的実施例を図1を参照して説明する。図1(a)はこの発明の全体構成を示す図で

ある。図1(b)は投票後の投票内容の一覽を示し、図1(c)は集計後の投票内容の一覽を示す。ここで、 T 人の投票者 V_i 、それぞれの投票者装置100は、それぞれ記名通信路400を介して選挙管理者装置200に接続すると共に、匿名通信路500を介して集計者装置300に接続している。集計者装置300は投票内容の一覽表600を公開する。投票者装置100はこの一覽表600にアクセスすることができる様構成されている。図2はこの発明の通信シーケンスを示し、図3は投票者装置100を示し、図4は選挙管理者装置200を示し、図5是集計者装置300を示す。

【0010】ここで、これらの図を参照して、投票者 V_i が投票内容 v_i を選挙管理者Aの承認を得た後に集計者Cに対して投票する場合について説明する。ここで、簡単のために、以下の記法を採用する。

$x = \varepsilon(v, k)$: 暗号化関数(メッセージ v 、乱数成分 k)

$v = \rho(x, k)$: 復号化関数(暗号文 x 、乱数成分 k)

$s = \sigma_i(m)$: 投票者 V_i の署名作成関数(メッセージ m)

$m = \zeta_i(s)$: 投票者 V_i の署名検証関数(署名 s)

$s = \sigma_A(m)$: 選挙管理者Aの署名作成関数(メッセージ m)

$m = \zeta_A(s)$: 選挙管理者Aの署名検証関数(署名 s)

$e = \omega_i(m, r)$: 攪乱関数(メッセージ m 、乱数 r)

$y = \delta_i(d, r)$: 乱数成分除去関数(署名 d 、乱数 r)

選挙管理者Aの署名関数(σ_A, ζ_A)は、乱数による攪乱(ω_i)および乱数成分除去(δ_i)ができるものとする。

【0011】この署名関数については、例えばRSA暗号の暗号化関数と復号化関数があり(Ronald Rivest, Adi Shamir, Leonard Adleman: "A method for obtaining digital signatures and public-key cryptosystems", Communications of the ACM, Vol.21, No.2, pp.120-126(Feb., 1978))、乱数による攪乱の手法についての詳細は、David Chaum: "Security without identification: Transaction systems to make big brother obsolete", Communications of the ACM, Vol.28, No.10, pp.1030-1044(Oct., 1985)に記述されている。

【0012】以下、投票の手順を示す。

Step 1 投票者 V_i は、投票者装置100を介して投票の準備を次のように行う。

Step 1-1 投票者 V_i は、投票内容 v_i を乱数発生器110よりランダムに選ばれた乱数成分 k_i を使用して暗号化器120により暗号化し、投票用紙 x_i

$x_i = \xi(v_i, k_i)$

を作成する。

【0013】Step 1-2 投票者 V_i は乱数生成器 130 を使用して r_i を生成し、攪乱器 140 を用いて投票文 e_i

$e_i = \omega_i(x_i, r_i)$

を作成する。

Step 1-3 投票者 V_i は署名作成器 150 を使用して、 e_i の署名 s_i

$s_i = \sigma_i(e_i)$

を作成し、 e_i 、 s_i を選挙管理者 A に送信する。

【0014】Step 2 選挙管理者 A は選挙管理装置 200 を介して承認手続を次のように行う。

Step 2-1 選挙管理者 A は、署名検査器 220 を使用して、 s_i と e_i を検査し、投票者 V_i が有権者であることを確認する。もし、そうでなければ、選挙管理者 A は承認を拒否する。

【0015】Step 2-2 選挙管理者 A は、これ以前に投票者 V_i が選挙管理者 A による承認を受けているか否かを検査する。もし、既に承認を受けている場合は、選挙管理者 A は承認を拒否する。

Step 2-3 選挙管理者 A は、 e_i を署名作成器 230 に通して署名 d_i

$d_i = \sigma_i(e_i)$

を計算し、 e_i に対する承認として d_i を投票者 V_i に送信する。

【0016】Step 3 投票者 V_i は投票者装置 100 を介して、投票用紙とその署名情報を次のように作成する。

Step 3-1 投票者 V_i は、 d_i と r_i を乱数成分除去器 160 に入力して投票用紙 x_i の署名情報 y_i

$y_i = \delta(d_i, r_i)$

を求める。

【0017】Step 3-2 投票者 V_i は署名検査器 170 を使用して、 y_i が選挙管理者 A の署名であることを確認する。もし、不合格である場合、投票者 V_i は e_i 、 d_i を示すことにより選挙管理者 A の不正を主張する。

Step 3-3 投票者 V_i は、 x_i 、 y_i を集計者 C に集計者装置 300 および匿名通信路 500 を介して送信する。

【0018】Step 4 集計者 C は集計者装置 300 を介して以下のようにして票を収集する。

Step 4-1 集計者 C は集計者装置 300 および署名検査器 310 を使用して y_i が投票用紙 x_i の署名であることを確認する。もし、合格ならば、集計者 C は投票リスト 600 に投票用紙 x_i とその署名 y_i を l 、 x_i 、 y_i と番号付けをして掲載する。

【0019】Step 4-2 全ての投票終了後、集計者 C はリストを公表する。このリストは全ての投票者 V_i からアクセスすることができるものとする。

Step 5 集計者 C は集計者装置 300 を介して、以下のようにして開票を行う。

Step 5-1 投票者 V_i は投票者装置 100 を介してリストに掲載された投票の数が投票者の数と一致するかどうかを検査する。もし、不合格ならば番号 l と乱数 r_i を公表して選挙管理者 A の不正を主張する。

【0020】Step 5-2 投票者 V_i は自らの投票用紙が掲載されているか否かを検査する。もし、掲載されていなければ、 x_i 、 y_i を公表することにより集計者 C の不正を主張する。

Step 5-3 投票者 V_i は、番号 l と共に乱数成分 k_i 、即ち l 、 k_i を匿名通信路 500 を介して集計者 C に送信する。

【0021】Step 6 集計者 C は集計者装置 300 を介して以下のよう集計を行う。

Step 6-1 集計者 C は乱数成分 k_i を使用して投票用紙 x_i を復号化器 330 にて開票し、投票内容 v_i を求め、投票 v_i が正しい投票か否かを検査する。

Step 6-2 集計者 C は、投票 v_i を集計器 340 を使用して集計し、その結果を周知するとともに、 k_i と v_i をリストに追加する。

【0022】Step 7 投票者 V_i は投票者装置 100 を介して集計者 C の操作が正しいことを確認する。

【0023】

【発明の効果】以上の通りであって、この発明は、投票内容 v を暗号化して投票文 x を作成するので、選挙管理者 A および集計者 C は投票文から投票内容を求めることはできない。そして、投票者 V_i は選挙管理者 A に攪乱した投票用紙を署名付きで送信しているため、選挙管理者 A が不正に投票文を混ぜて集計者 C に送信することはできない。これは、選挙管理者 A は不正な投票文に対する署名を保持することができないからである。また、集計者が投票内容を改竄しても、公開された投票内容の一覧表を閲覧することにより投票内容の改竄を検出することができる。即ち、自らの投票が表示されていないときは、暗号化された投票用紙と選挙管理者の署名を公開し、不正を主張すればよい。この際、公開は暗号化されたものを公開するので異議申立時のプライバシーは保証される。この発明は、更に、投票内容を暗号化して送信しているため、投票用紙の収集の際に集計者が途中経過を漏洩して選挙に影響を及ぼすという不正を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】この発明の全体構成を示す図であり、(a) そのブロック図、(b) は投票後の投票内容の一覧を示す図 (c) は集計後の投票内容の一覧を示す図である。

【図 2】この発明の通信シーケンスを示す図。

【図 3】投票者装置のブロック図。

【図 4】選挙管理者装置のブロック図。

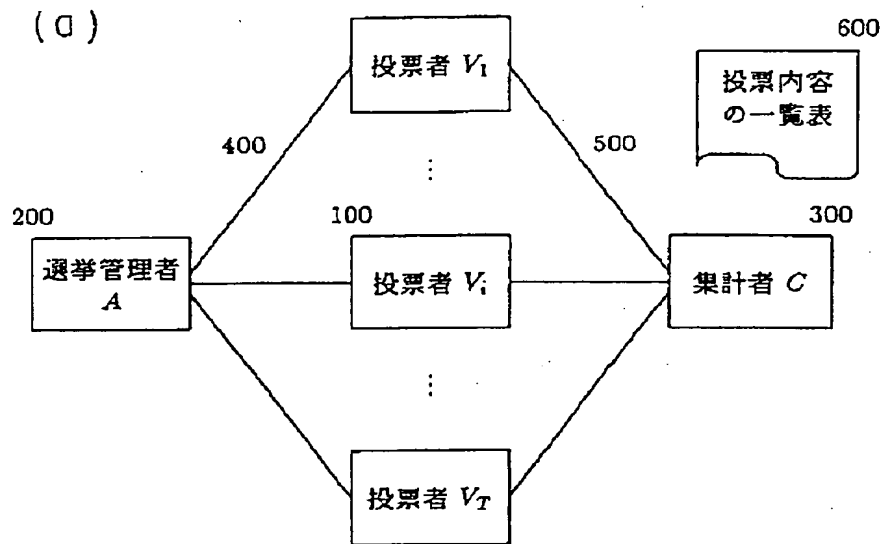
【図 5】集計者装置のブロック図。

【符号の説明】

1 0 0	投票者装置	1 7 0	署名検査器
1 1 0	乱数発生器	2 0 0	選挙管理者装置
1 2 0	暗号化器	2 3 0	署名作成器
1 3 0	乱数発生器	3 0 0	集計者装置
1 4 0	攪乱器	3 1 0	署名検査器
1 5 0	署名作成器	3 2 0	表作成器
1 6 0	乱数成分除去器	3 4 0	集計器
		6 0 0	表

【図 1】

図 1



(b)

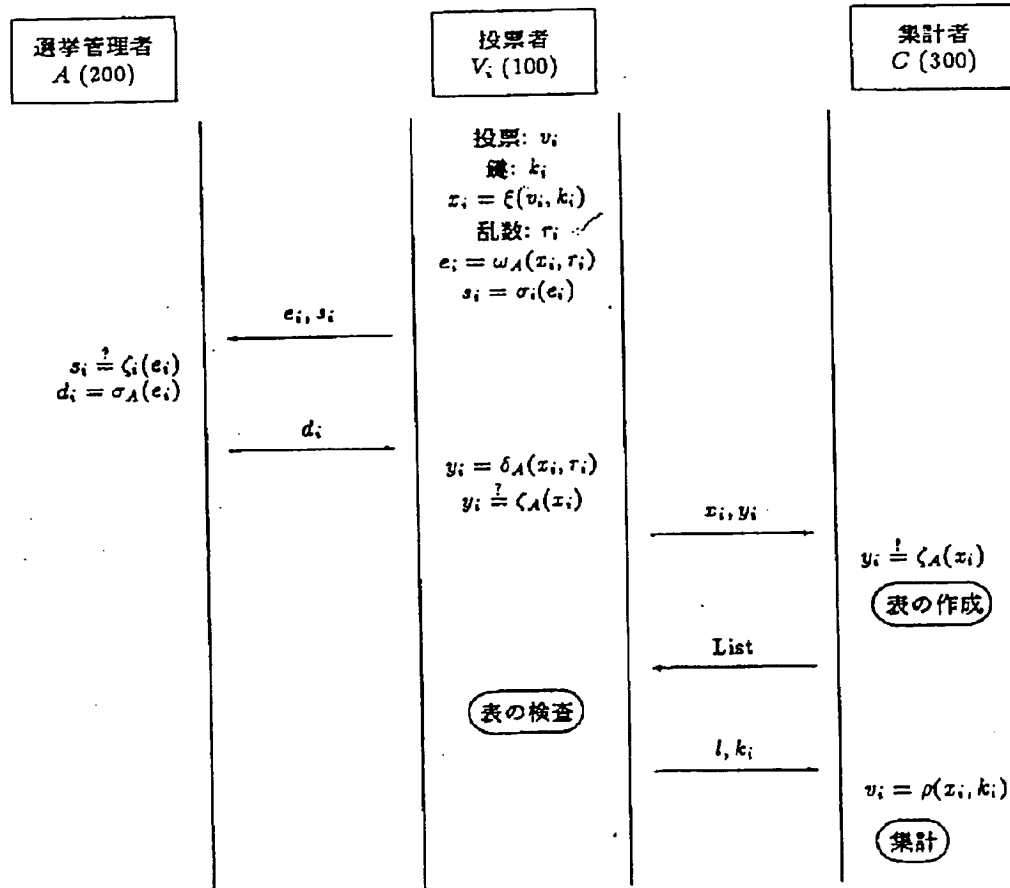
番号	投票内容 (付加情報)
1	x_j, y_j
\vdots	\vdots
l	x_i, y_i
\vdots	\vdots

(c)

番号	投票内容 (付加情報)
1	x_j, y_j, k_j, v_j
\vdots	\vdots
l	x_i, y_i, k_i, v_i
\vdots	\vdots

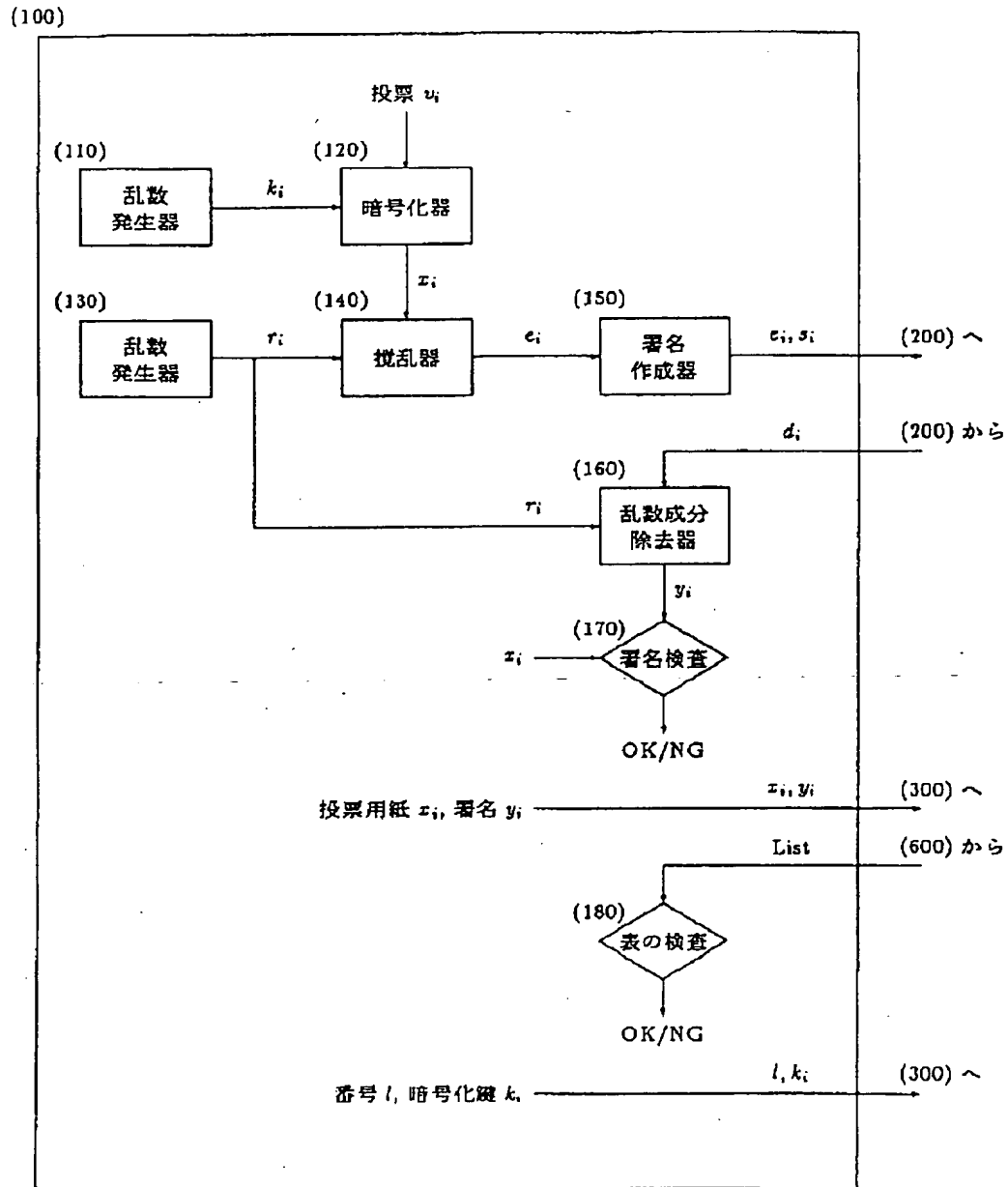
【図 2】

図 2



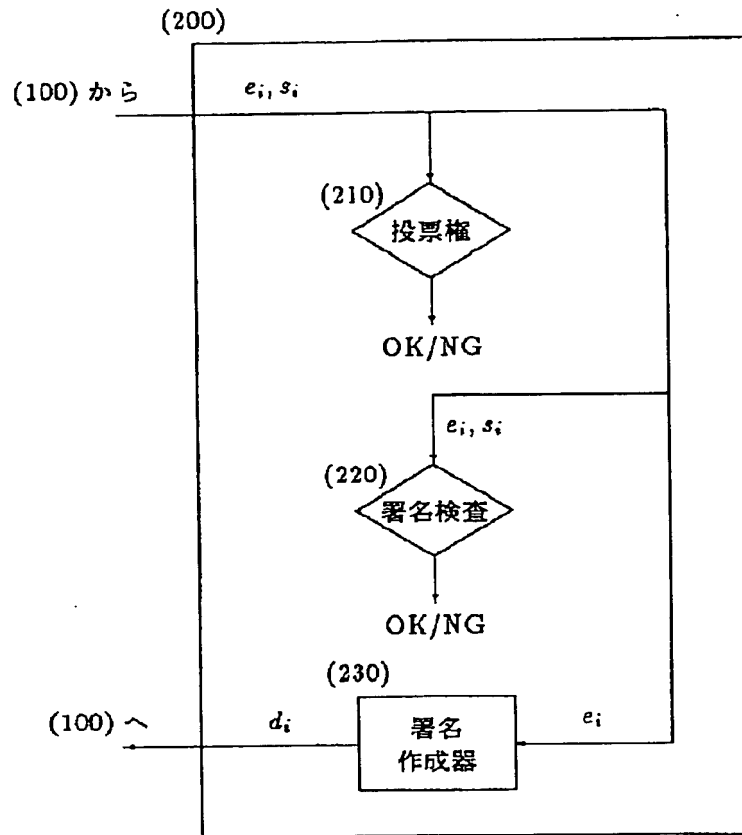
【図 3】

図 3



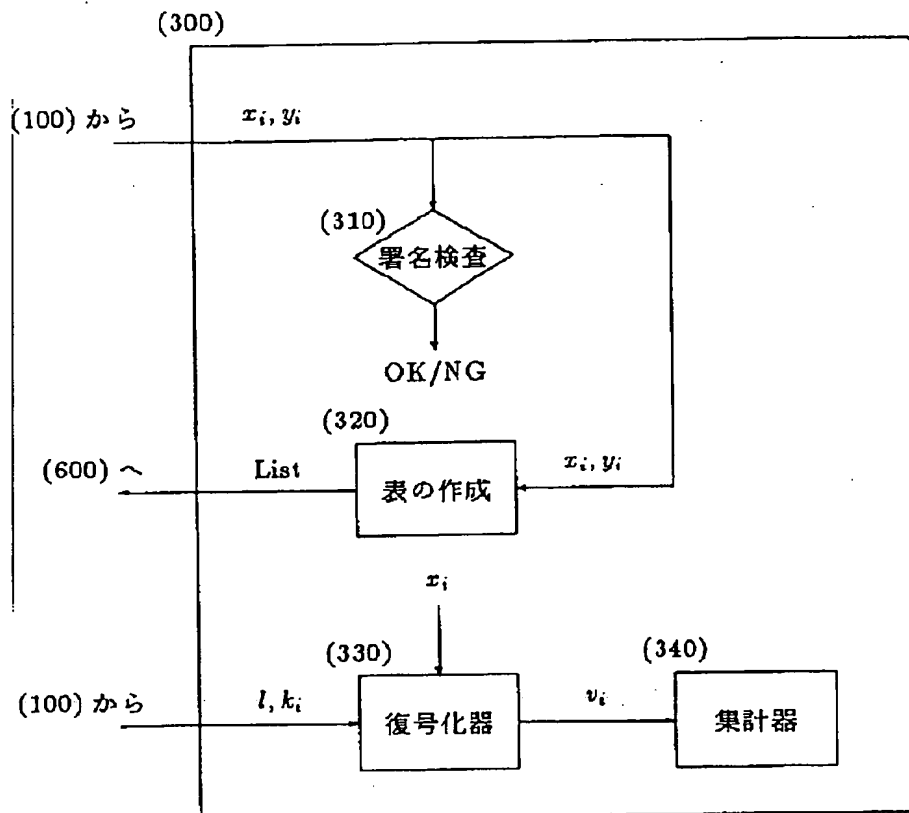
【図 4】

図 4



【図 5】

図 5



This Page Blank (uspto)